



市では、住民自治組織「まちづくり自治会(協議会)」の設立に向けて、各町内会への説明会を行っています。

市が考える「まちづくりのススめ」

町内会(集落・常会)が、より広い範囲でつながり、助け合える「まちづくり自治会」を作り、活動を活発にすることを目指していること。そして、将来的には、複数の自治会の集まりである「まちづくり協議会」に発展させていきたいということ。これが市からの提案です。

昨年度より市職員が各地域の担当として市内それぞれの町内会や地域で説明会を開催しています。しかし、説明会への参加者は少なく、市は多くの課題と反省点を残しています。今後、引き続き市職員が各地域の皆さんと一緒に取り組んでいきますのでよろしくお願ひします。

つねいつくとき

あなたの地域は

説明会の参加者からは「今のままの町内会ではダメなのか」「大きい組織にする必要があるのか」といった疑問や意見がありました。あなたは、自分が住んでいる「まち」や「地域」について、考えたことはありますか？物が豊かになり、便利になった個々の生活はあるものの、共働き世帯の増加や核家族化の進行などで生活スタイルが大きく変わり、地域で暮らす人たちの連帯意識は薄れつつあります。

そして若者がいなくなった地域の現状は、近い将来、必ず起こると言われている南海地震をはじめ、大きな災害などに多くの不安な課題を抱えています。

人々の暮らしを
笑顔にしたい
助け合えるまちづくり

住民の住民による 住民のためのまちづくり

助け合う仕組みをつくりましょう

日々の生活での困りごとなど、小さなことでも、助け合えることは心強いことです。今、自分や家族の命を守る防災の観点からみんなで助け合う仕組みとして、重要な役割をもつ組織「自主防災組織」の立ち上げが急がれています。

市内では現在、約80%の組織率で、災害に備えて避難場所を決めたり、防災マップの作成や訓練などを自主的に行い、不測の事態に備えています。若者がいない町内会や少人数の町内会では機能し難いことから複数で集まった仕組みづくりをしています。このようなことも市が提案するまちづくりのひとつです。

もちろん、組織ができても年に一度の訓練や役割分担の名簿だけでは、成果につながりません。日ごろからの人と人のかかわりや支え合いが、いざ災害が起こった時の助け合いにつながります。この機会にぜひ、あなたの地域について考えてみてください。

※市では、自主防災組織の活動に対して補助金を交付しています。詳しくは、お問い合わせください。

みんなで備える 防災総合補助金

- 補助対象事業
自主防災組織の育成・整備を図る事業
(例) 防災資機材の購入
- 補助額 1組織あたり100万円以内
※1回限り
- 問い合わせ
防災対策課 57-8501

皆さんのいろんな思いが 反映される仕組みづくりを

道路・環境・福祉・防災…
「こんなまちになったらいいな!」
「みんなでこんな活動がしたい!」
「防犯灯をつけんと夜は怖いねえ」
「草もつれの公園を、何とかしたいけど」
「避難経路が暗くて道が狭い。何とかならんろうか?」

地域のことは、そこに住む人が一番よく知っているはず。そんな地域にしたいという自分たちの思いを実現していくのは、地域に住んでいる皆さんです。皆さんのさまざまな声をきちんと行政に反映させるためには、伝える仕組みを確立することが必要です。

共に考え解決しましょう

まちづくりの基本は、そこに住む「住民の望むもの」を「いかに実現していくか」にあります。市では一番身近な組織である町内会・部落常会を基に「まちづくり自治会」をつくり、行政と共に課題の解決やまちづくりを進めることが必要だと考えています。

町内会(自治会)はなくなってしまうの？



町内会がなくなるわけではありません。もっと広い範囲でのまちづくり活動の提案を行っています。

考えよう！ 「まちづくり」ってなんだろう
わたしが住むまちのこと